

〈第2期潮来市学校適正化計画〉

潮来市小中学校の統合に向けた取り組み③

2月号の広報いたこでは、令和8年4月からの小中学校の統合についてお知らせしました。

今月号では、学校統合に向けた具体的な取り組みの第三弾として、令和11年4月の市内中学校一校化に向けた取り組み状況についてお知らせします。



〈なぜ「学校適正化」が必要なのか?〉

【学校適正化が必要な背景と経過】

全国的に少子高齢化が進んでおり、当市においても影響は顕著です。第2期潮来市学校適正化計画の推計値では、令和8年度の中学校生徒数は574名、令和11年度は526名、令和15年度では405名となっています。中学校では、学校規模に応じて教員の配置数が決まることなどから、標準的には12～18学級(学校教育法施行規則)が標準規模とされています。現状の市内中学校は3～6学級となっており、各教科担当の教員配置数も十分ではありません。

令和11年4月の中学校一校化によって、想定される学級数は15～16学級となります。専科教員等についてもすべて配置されることになり教員の専門性の向上や教育環境の充実、生徒数が増えることにより人間関係の多様化、施設・設備の効率化など多岐にわたります。また、生徒は、異年齢交流が増え、社会性や協調性を育みやすくなり、学習面でも多様な意見に触れ、専門的な指導が受けやすくなる効果も期待されます。

〈中学校の一校化学校予定地について〉

令和6年度から学校・PTA・地域の方々で構成する中学校一校化検討委員会で、中学校一校化の学校予定地選定等についても検討を重ねてきました。令和7年12月15日に中学校一校化検討委員会から学校予定地選定の方向性について、潮来第二中学校が統合中学校に適しているとの内容の要望書提出がありました。それを受け、市では令和11年度の統合中学校の学校予定地を潮来第二中学校とすることを決定しました。なお、中学校一校化に伴う教室などの学校施設は、一部改修工事により十分確保できる見込みです。

統合中学校の具体的な内容については、今後、関係者で組織・設置される中学校統合準備委員会(仮称)等で協議し決定していくこととなります。

〈令和8年度からの市内小中学校について〉



【お問合せ】 学校教育課 ☎63-1111 内線362